

新潟大学 佐渡自然共生科学センター 臨海実験所

実習タイトル		佐渡・森里海の連携学コース「森里海をつなぐ野外生態学実習」			
実習内容					
日本海に浮かぶ佐渡島は、森林・里山・海とそれらをつなぐ川とがコンパクトにまとまっており、森里海の生態系を短期間の実習で学ぶことができる全国的にも貴重なフィールドである。また、トキやサドガエルなど佐渡でしか見られない動物も観察できる。本実習では、新潟大学佐渡自然共生科学センターの演習林と朱鷺・自然再生学研究施設の教員の協力の下で、佐渡島にある森・里・海の様々な環境でフィールドワーク（野外調査）を行い、それぞれの場所における生物群集の特徴や生態系のつながり、そして人間の社会活動と生物との関係について学ぶ。					
森（新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林）					
1) 演習林での人工林、針広混交林の観察、2) スギ天然林や風衝地の植生観察 3) 溪畔林の観察、4) 牛の林間放牧による植生変化の観察					
里（新潟大学佐渡自然共生科学センター朱鷺・自然再生学研究施設）					
1) トキの野生復帰と里山に関する講義、2) 耕作放棄地を利用した自然再生現場での調査 3) 野生復帰したトキの生息環境の見学					
海（新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所）					
1) シュノーケリングによる磯生物の観察・採集、2) 岸壁での夜行性海洋生物の灯火採集 3) 河川などでの環境・水生生物の調査、4) 採集した生物の観察・分類・同定					
実習内容キーワード		トキ、環境、里山、天然林、川、人と自然との関わり、生態系、多様性 磯採集、シュノーケリング			
担当教員氏名・ 所属・役職名		安東宏徳（臨海実験所・教授）、飯田碧（臨海実験所・准教授） 大森紹仁（臨海実験所・助教）、川坂健人（臨海実験所・特任助教） 阿部晴恵（演習林・准教授）、古郡憲洋（演習林・特任助教） 永田尚志（朱鷺・自然再生学研究施設・教授） 高津邦夫（朱鷺・自然再生学研究施設・准教授）			
協力教員氏名・ 所属・役職名		1名の外部講師を任用予定。			
対象学生・学年		国公立大学の 学部1～4年生 (大学院生も可)	開講期間	2023年9月11日(月)～16日(土) 5泊6日	
開講大学・施設名		新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所			
施設の住所		〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87			
電話	0259-75-2012		F a x	0259-75-2870	
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp		Web Site	https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/	
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。佐渡島内での移動は公用車で 行う（無料）。直江津－小木航路の利用については、事前連絡があれば公用車で小木港までの送迎 を行う。				
費用	実習期間中の食費、寝具クリーニング代および雑費：約 15,000 円				
授業科目名		臨海実習Ⅱ			
単位数		2単位	定員数	約8名	
授業料の徴収について		授業料は徴収しない。			
受講生選抜基準と 申し込み締め切り		原則として先着順。締め切り日は2023年7月28日（金）。			
選抜結果連絡法		書面とメールにより本人に直接連絡する。			

記入状の注意点：

計画書表題（MS 明朝 14pt 太字センタリング）や個々の表記（MS 明朝 10.5pt 等）のフォントとサイズは変更しないようにお願いします。

記入フォントサイズは基本的には様式に習って作成して下さい。ただし、フォントサイズや枠の高さ（幅は変更しないようにして下さい）を変更する際は、様式全体が 1 ページに収まるよう注意して下さい。

日本語フォントは MS 明朝で統一して記入して下さい。

数字は半角入力して下さい。

英語フォントは Times で統一して記入して下さい。

対象学生・学年の項目は、院生対象であるのか学部学生対象であるのか、またどちらも可であるのかはつきり分かるように記入して下さい。

例：院生中心（学部も可）、修士院生、博士院生、学部学生のみ、2 年生以上の学部学生（院生も可）、院生のみ、等。